

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年10月8日

【四半期会計期間】 第96期第3四半期(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

【会社名】 株式会社くろがね工作所

【英訳名】 Kurogane Kosakusho Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 神 足 泰 弘

【本店の所在の場所】 大阪市西区新町1丁目4番24号

【電話番号】 06(6538)1010

【事務連絡者氏名】 専務取締役 神 足 尚 孝

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区新町1丁目4番24号

【電話番号】 06(6538)1010

【事務連絡者氏名】 専務取締役 神 足 尚 孝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第3四半期 連結累計期間	第96期 第3四半期 連結累計期間	第95期
会計期間	自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日	自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日	自 平成25年12月1日 至 平成26年11月30日
売上高 (千円)	7,775,594	7,984,022	10,593,400
経常利益 (千円)	100,032	137,548	172,242
四半期(当期)純利益 (千円)	84,935	144,532	116,877
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	27,790	248,535	100,036
純資産額 (千円)	3,958,321	4,269,979	4,030,567
総資産額 (千円)	11,672,113	12,107,676	11,437,576
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.98	8.48	6.86
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	33.8	35.2	35.1

回次	第95期 第3四半期 連結会計期間	第96期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日	自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.54	1.71

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融・財政政策により、円安・株高基調が持続しており、輸出関連企業を中心として採算性の向上に伴う企業収益の改善がみられましたが、一方ギリシャ債務問題や新興国の経済情勢による景気の下振れリスクの影響等先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループはオフィスのリニューアル案件、大型移転案件や医療・高齢者福祉関連施設等に対し積極的な提案セールスを推進するとともに、品質向上、コスト削減並びに納期短縮に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,984百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は175百万円（前年同四半期比19.2%増）、経常利益は137百万円（前年同四半期比37.5%増）、四半期純利益は144百万円（前年同四半期比70.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [ 家具関連 ]

オフィス家具市場は、金融機関等の家具リニューアル案件やIT関連業界等の大型移転案件、教育関連施設および医療関連施設案件等への積極的な営業展開に努めましたが、円安による輸入商品及び原材料のコスト・アップ等により厳しい営業展開となりました。

また家庭用家具部門では、主力商品である学習家具の通年販売、新型SOHOデスク・ベッド等の販売に取り組みましたが、年々就学児童数が減少する厳しい市場環境が続いております。

その結果、家具関連の売上高は4,837百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同四半期比734.8%増）となりました。

#### [ 建築付帯設備機器 ]

全国的に医療福祉施設の老朽化に伴う建替え需要案件と耐震化による改築・リニューアル案件が当第3四半期累計期間も引き続き高い水準で設計・建設されています。当社の主力商品である懸垂式引戸「アキュドユニット」につきましても、機能性・耐久性に高い評価を受け受注は順調に推移いたしました。

また病院向けの医療ガスアウトレット/情報端末内蔵式設備「メディウオード・ユニット」につきましても、昨年度の医療設備機器展（HOSPEX）において新タイプを発表し積極的にスペック・イン活動を展開しました。

クリーン機器他設備機器部門では、前年より継続して納入しておりました大手銀行向け特殊小型空調機の設備工事が順調に推移し、生産量、販売額は増加いたしました。さらに主力製品のクリーン機器につきましても新製品の開発に鋭意取り組み受注拡大に努めました。

その結果、建築付帯設備機器の売上高は3,146百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は334百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は12,107百万円となり、前連結会計年度末に比べて670百万円増加いたしました。この主な要因は受取手形及び売掛金が1,133百万円、投資有価証券が113百万円それぞれ増加し、現金及び預金が554百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は7,837百万円となり、前連結会計年度末に比べて430百万円増加いたしました。この主な要因は長短借入金が増加し、支払手形及び買掛金が328百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は4,269百万円となり、前連結会計年度末に比べて239百万円増加いたしました。この主な要因は利益剰余金が増加し、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は43百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	55,000,000
計	55,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年10月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,571,139	18,571,139	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	18,571,139	18,571,139		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年8月31日		18,571		2,998,456		

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成27年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,532,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,973,000	16,973	
単元未満株式	普通株式 66,139		
発行済株式総数	18,571,139		
総株主の議決権		16,973	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【自己株式等】

平成27年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社くろがね工作所	大阪市西区新町1丁目4番 24号	1,532,000		1,532,000	8.25
計		1,532,000		1,532,000	

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年12月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人グラヴィタスによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,366,624	812,024
受取手形及び売掛金	1, 2 1,825,305	1, 2 2,959,115
商品及び製品	885,678	883,607
仕掛品	1,274,794	1,230,614
原材料及び貯蔵品	228,226	251,451
その他	83,988	93,398
貸倒引当金	8,727	9,795
流動資産合計	5,655,891	6,220,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,655,063	1,570,946
土地	2,375,281	2,375,281
その他（純額）	298,314	285,820
有形固定資産合計	4,328,659	4,232,047
無形固定資産	54,067	115,079
投資その他の資産		
投資有価証券	1,213,057	1,326,276
その他	199,073	217,511
貸倒引当金	13,172	3,654
投資その他の資産合計	1,398,959	1,540,132
固定資産合計	5,781,685	5,887,260
資産合計	11,437,576	12,107,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 1,986,315	2 1,657,437
短期借入金	1,350,900	1,738,200
1年内返済予定の長期借入金	1,029,620	1,082,061
未払法人税等	24,794	13,518
賞与引当金	-	37,302
その他	890,241	861,332
流動負債合計	5,281,872	5,389,853
固定負債		
長期借入金	1,124,746	1,455,252
リース債務	103,083	123,664
役員退職慰労引当金	10,438	10,438
退職給付に係る負債	352,223	361,876
再評価に係る繰延税金負債	411,890	372,552
その他	122,755	124,061
固定負債合計	2,125,137	2,447,843
負債合計	7,407,009	7,837,697



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	317,323	461,855
自己株式	157,353	157,556
株主資本合計	3,158,426	3,302,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,712	207,619
繰延ヘッジ損益	197	3,681
土地再評価差額金	714,477	753,814
その他の包括利益累計額合計	860,387	957,752
少数株主持分	11,754	9,471
純資産合計	4,030,567	4,269,979
負債純資産合計	11,437,576	12,107,676

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	7,775,594	7,984,022
売上原価	6,098,061	6,276,777
売上総利益	1,677,532	1,707,245
販売費及び一般管理費	1,530,527	1,532,077
営業利益	147,005	175,167
営業外収益		
受取利息	116	127
受取配当金	17,540	17,614
持分法による投資利益	5,380	10,467
仕入割引	12,922	11,654
その他	4,041	2,630
営業外収益合計	40,001	42,494
営業外費用		
支払利息	56,151	48,439
支払手数料	17,781	22,206
その他	13,041	9,467
営業外費用合計	86,974	80,113
経常利益	100,032	137,548
特別利益		
固定資産売却益	626	-
投資有価証券売却益	57,238	38,299
負ののれん発生益	-	163
特別利益合計	57,864	38,463
特別損失		
固定資産除却損	316	1,088
電話加入権評価損	463	-
投資有価証券評価損	47,949	-
特別損失合計	48,730	1,088
税金等調整前四半期純利益	109,166	174,923
法人税、住民税及び事業税	22,273	23,764
法人税等調整額	2	10
法人税等合計	22,271	23,753
少数株主損益調整前四半期純利益	86,895	151,169
少数株主利益	1,960	6,637
四半期純利益	84,935	144,532

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,895	151,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,985	61,608
繰延ヘッジ損益	839	3,879
土地再評価差額金	-	39,337
持分法適用会社に対する持分相当額	40	299
その他の包括利益合計	59,105	97,365
四半期包括利益	27,790	248,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,830	241,898
少数株主に係る四半期包括利益	1,960	6,637

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
受取手形割引高	860,283千円	11,262千円
受取手形裏書譲渡高	296,055 "	112,251 "

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
受取手形	4,166千円	千円
支払手形	236,143 "	"

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
減価償却費	187,169千円	173,586千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,769,777	3,005,816	7,775,594		7,775,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	4,769,777	3,005,816	7,775,594		7,775,594
セグメント利益	4,982	342,304	347,287	200,281	147,005

(注) 1 セグメント利益の調整額 200,281千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,837,165	3,146,856	7,984,022		7,984,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	4,837,165	3,146,856	7,984,022		7,984,022
セグメント利益	41,599	334,351	375,950	200,783	175,167

(注) 1 セグメント利益の調整額 200,783千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	4円98銭	8円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	84,935	144,532
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	84,935	144,532
普通株式の期中平均株式数(株)	17,039,292	17,038,630

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年10月6日

株式会社くろがね事務所  
取締役会 御中

### 監査法人グラヴィタス

指定社員 業務執行社員	公認会計士	木田稔	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	藤本良治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社くろがね事務所の平成26年12月1日から平成27年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年6月1日から平成27年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年12月1日から平成27年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社くろがね事務所及び連結子会社の平成27年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。